

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成 年 月 日

協議会名: 清須市地域公共交通会議

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統)

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C評価	【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等を分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
つばめ自動車株式会社	オレンジルート 1～5便及び6便 春日老人福祉センター・清須保健所～清洲駅～枇杷島駅～西枇杷島会館 【車両減価償却費等国庫補助金交付対象】	利用者数は順調に増加して推移しており、更なる利用者増加及び認知度向上に向けて、清須市地域公共交通網形成計画(平成27年3月策定)に掲げた利用促進策等を継続的に実施した。	A	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。 A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した。 A 目標利用者数: 1便当たり/6.0人 実績利用者数: 1便当たり/6.4人 目標達成率:106.7%	利用者の推移を見ると、昨年度とほぼ同じトレンドのまま利用者の底上げができています。また、10月1日に大規模なルート・ダイヤ改正を行っており、その影響を注視しながら、さらなる利用者の増加を目指して、利用促進施策を継続する。
つばめ自動車株式会社	グリーンルート 1～7便及び8～10便 豊公橋北～枇杷島駅～須ヶ口駅～清洲総合福祉センター 【車両減価償却費等国庫補助金交付対象】	利用者数は順調に増加して推移しており、更なる利用者増加及び認知度向上に向けて、清須市地域公共交通網形成計画(平成27年3月策定)に掲げた利用促進策等を継続的に実施した。	A	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。 A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した。 A 目標利用者数: 1便当たり/5.7人 実績利用者数: 1便当たり/5.8人 目標達成率:101.8%	利用者の推移を見ると、昨年度とほぼ同じトレンドのまま利用者の底上げができています。また、10月1日に大規模なルート・ダイヤ改正を行っており、その影響を注視しながら、さらなる利用者の増加を目指して、利用促進施策を継続する。
つばめ自動車株式会社	サクラルート 1～7便及び8～10便 西枇杷島会館～枇杷島駅～春日公民館 【車両減価償却費等国庫補助金交付対象】	利用者数は順調に増加して推移しており、更なる利用者増加及び認知度向上に向けて、清須市地域公共交通網形成計画(平成27年3月策定)に掲げた利用促進策等を継続的に実施した。	A	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。 A ほぼ毎日利用していたと思われる利用者(推定1人)がいなくなったため、目標を下回った。 B 目標利用者数: 1便当たり/7.2人 実績利用者数: 1便当たり/6.9人 目標達成率:95.8%	5月以降は前年度を上回る利用者数で推移しており、特定の利用者だけでなく、多くの住民に広く利用されるよう、利用者ニーズの把握に努めるとともに、10月1日に大規模なルート・ダイヤ改正を行ったことから、その影響を注視しつつ、さらなる利用者の増加を目指して、利用促進施策を継続する。